

2020 年度畑作関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会 技術部

2020 年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、2020 年 12 月 1 日(火)～2 日(水)に Zoom を用いた Web 会議において開催された。

この検討会には、試験場関係者 45 名、委託関係者 25 名ほか、計 86 名の参集を得て、除草剤 26 薬剤(169 点)、生

育調節剤 1 薬剤(4 点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

2020 年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験 判定

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
1. AC-263 液 イマザモックスアン モニウム塩:0.85% [BASFジャパン]	大豆	実・継 従 来 通 り	一年生広葉 雑草	茎葉兼 土壌処 理 (全面)	大豆出芽直前 ～揃、雑草発 生始～本葉展 開期	200～ 300mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	北海道		・一年生イネ科雑草に 対する効果・葉害の年 次変動の確認(東北以 南) ・大豆初生葉展開期～ 本葉1葉期、広葉雑草 2葉期における効果・ 葉害の確認(北海道)
			一年生雑草		大豆出芽揃期 ～本葉 3葉期、 雑草発生始期 ～2葉期			東北以南		
			一年生広葉 雑草	茎葉兼 土壌処 理 (畦間)	大豆生育期、 広葉雑草2葉 期まで			北海道		
2. BAH-1517 乳 シンメチリン:75.0% [BASFジャパン]	小麦 (春播)	—							(作用性)	
3. BAS-656 乳 ジメテナミドP:64.0% [BASFジャパン]	てんさい (移植)	実 従 来 通 り	一年生雑草	土壌処 理(全面)	てんさい定植 後、雑草発生 前	75～120mL <水量70～ 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	アカザ科・アブラ ナ科・タデ科には 効果が劣る	
	てんさい		実	一年生雑草	土壌処 理(全面)					てんさい生育 期、中耕後発 生前
4. BAS-3510(Na) 液 ペンタゾンナトリウ ム塩:40.0% [ツムラ, BASFジャパン]	おうぎ	実・継	一年生広葉 雑草	茎葉処 理(全面)	おうぎ生育 期、雑草2～4 葉期	200mL<水 量100L>	全土壌	全域	・雑草6葉期までの効 果・葉害の確認	

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意		
5. BCH-181 フロアブル チエンカルバゾンメ チル:2.9% ホラムスルフロン:4.8% [バイエルクロップサイエンス]	てんさい (ALS阻害 剤耐 性)(直播)	実	一年生雑草	土壌処 理(全面)	てんさい子葉 期以降, 雑草 発生始期	50~100mL <水量50L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・低薬量, 高水量 ではシロザに対 する効果が劣る 場合がある		
				茎葉兼 土壌処 理(全面)	てんさい子葉 期以降, 広葉 雑草1~2葉期						
					てんさい子葉 期以降, 広葉 雑草3~4葉期						
	てんさい (ALS阻害 剤耐 性)(移植)	実・継	一年生雑草	土壌処 理(全面)	てんさい移植 後, 雑草発生 始期	50~100mL <水量50L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・広葉雑草3~4葉期処 理における効果・薬害 の確認		
				茎葉兼 土壌処 理(全面)	てんさい移植 後, 広葉雑草 1~2葉期						
6. HCW-201フロアブル DCMU 50% [保土谷UPL, 北興化学]	さとうきび (春植え)	実・継 従 来 通 り	一年生雑草, 多年生広葉 雑草	茎葉兼 土壌処 理(全面)	さとうきび萌 芽前, 雑草発 生始期	100~ 150mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・ムラサキカタバ ミには効果が劣 る場合がある	・植付後萌芽前, 雑草 発生前における薬量 100, 240mL<水量 100L>, 100, 160, 200mL<水量200L>での 効果・薬害の確認 ・さとうきび生育期, 雑草生育期における 薬量100mL<水量 200L>, 240mL<100, 200L>での効果薬害の 確認。	
					さとうきび生 育期, 雑草生 育期(草丈 15cm以下)						
	さとうきび (株出し)	実・継	一年生雑草, 多年生広葉 雑草	土壌処 理(全面)	さとうきび萌 芽前, 雑草発 生前	160~ 240mL <水量 100~ 200L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・ムラサキカタバ ミには効果が劣 る場合がある		・さとうきび萌芽前, 雑草発生始期での除 草効果・薬害の確認 ・さとうきび萌芽前, 雑草発生前における 薬量100mL<水量100 ~200L>/10a処理で の効果・薬害の確認 ・さとうきび生育期, 雑草生育期における 100mL<水量200L>, 240mL<水量100~ 200L>での効果・薬害 の確認。
					茎葉兼 土壌処 理(全面)						

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
7. Hoe-866 液 グルホシネー ト:18.5% [BASFジャパン]	さとうきび (春植え)	実・継	一年生雑 草, 多年生 広葉雑草	茎葉処 理(全面)	耕起または定 植5日前, 雑 草生育期(草 丈30cm以下)	300~ 1000mL<水 量100L>	全土壌	全域		・多年生イネ科雑草に 対する効果の確認 ・2000mLにおける効 果・葉害の確認
	さとうきび (夏植え)	継								・効果・葉害の確認
	さとうきび (春植え)	実・継	一年生雑 草, 多年生 広葉雑草	茎葉処 理(畦間)	さとうきび生 育期, 雑草生 育期	300~ 2000mL<水 量100L>	全土壌	全域	・作物に飛散しな いように散布す る ・雑草の草丈30cm 以下で散布する	・多年生イネ科雑草に 対する効果の確認
	さとうきび (夏植え)	継								・効果・葉害の確認
	さとうきび (株出し)	継								・効果・葉害の確認
	さとうきび	実 従来 通り	一年生雑草	茎葉処 理(圃場 内周縁 部)	雑草生育期 (草丈30cm以 下)	500~ 1000mL <水量 100L>	全土壌	全域	・作物に飛散しな いように散布す る	
	ホップ	継								・効果・葉害の確認
8. HOK-1911 水和 ジメテナミドP:15.4% レナシル:19.2% [北興化学工業]	てんさい (移植)	継								・効果・葉害の確認
	てんさい	—								(作用性)
9. HSW-1801 フロアブル ピロキサスルホン :3.5% メトプロムロン :25.9% (w/w) [ホクサン] 【有効成分含有率 公開6/26】	ばれい しよ	継								・効果・葉害の確認
10. JEA-2001 液 グルホシネート :18.5% [Joy Consulting]	かんしよ	実・継	一年生雑草	茎葉処 理(畦間)	かんしよ生育 期, 雑草生育 期	500mL<水 量100L>	全土壌	東北以南	・作物に飛散しな いように散布す る ・雑草の草丈30cm 以下で散布する	・畦間処理における 200mL<水量100L, 150L>での効果・葉害 の確認 ・畦間処理における 500mL<水量100L>での 年次変動の確認 ・耕起または挿苗前にお ける効果・葉害の確認
	ばれい しよ	継								・効果・葉害の確認

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
11. KUH-043 顆粒水和 ピロキサスルホン50% [クミアイ化学工業]	とうもろ こし(飼料 用)	実 従来 通り	一年生雑草	土壌処 理(全面)	とうもろこし 播種後出芽 前, 雑草発生 前	20~40g <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	北海道		・効果・薬害の確認(出 芽直前~出芽揃, と うもろこし1~2葉期)
	とうもろ こし(食 用)	継								・効果・薬害の確認
12. KUH-209 乳 既知化合物 A:1.2% 既知化合物 B:7.2% 既知化合物 C:9.6% (w/v) [クミアイ化学工業] 【有効成分含有率公 開6/19】	大豆	継								・効果・薬害の確認
13. MBH-2003 水和 メタミトロン:35% レナシル:40% [丸和バイオケミカル] 【有効成分名および 含有率公開6/29】	てんさい (移植)	—								(作用性)
	てんさい	—								
14. NBA-961顆粒水和 メタミトロン:70% [ツムラ, アダマ・ ジャパン, ホクサン]	おけら	実	一年生広葉 雑草	茎葉処 理(全面)	おけら生育 期, 雑草発生 揃	600g<水量 100L>	全土壌	全域	・展着剤を加用す る ・前処理剤との組 み合わせで使用 する	
	とうき	実	一年生広葉 雑草	茎葉処 理(全面)	とうき生育期, 雑草発生揃	600g<水量 100L>	全土壌	全域	・展着剤を加用す る ・前処理剤との組 み合わせで使用 する	
15. NBA-961顆粒水和 メタミトロン:70% [アダマ・ジャパン]	てんさい (直播)	実	一年生広葉 雑草	茎葉処 理(全面)	てんさい子葉 展開期~本葉 抽出期 (雑草発生始 ~揃) てんさい2葉期 以降 (雑草発生始 ~揃)	250~350g <水量50~ 100L>	全土壌	全域	・シロザ, ハコベは 葉齢が進むと効果 が劣る場合がある ・展着剤を加用す る	
16. NC-622 液 グリホサートカリウ ム塩 :48% [日産化学]	とうもろこし (飼料用)	実・継	雑草全般(ス ギナを除く)	茎葉処 理(全面)	播種後出芽前 雑草生育期 (草丈30cm以 下)	200~ 500mL <水量25~ 100L>	全土壌	東北以南	・少水量散布(5~ 6L, 25~50L)の場 合は専用ノズルを 使用する	・散布水量5~6Lにお ける効果・薬害の年次 変動の確認(一年生雑 草, 多年生広葉雑草) ・散布水量5~6Lにお ける効果の確認(多年生 イネ科雑草)
						200~ 400mL <水量50L>		北海道		
			一年生雑 草, 多年生 広葉雑草			200~ 500mL <水量5~ 6L>		東北以南		

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意		
17. NP-55 乳 セトキシジム:20% [日本曹達]	大豆	実・継 従 来 通 り	一年生イネ 科雑草	茎葉処 理(全面)	大豆生育期, イネ科雑草3～ 5葉期	150～ 200mL <水量25～ 150L>	全土壌	北海道	・イネ科雑草優占 圃場で使用する ・体系処理:広葉 雑草対象の土壌 処理剤を使用する ・少水量散布(25 ～50L)の場合は 専用ノズルを使用 する ・スズメノカタビラ には効果が劣る	・イネ科6～8葉期処理 での薬量200mL<水量 25L, 50L>における効果・薬害の確認	
						150～ 200mL <水量100 ～150L>		東北以南			
						大豆生育期, イネ科雑草5～ 8葉期 (草丈30cm以 下)		200mL <水量 100L>			全域
						大豆生育期, イネ科雑草8～ 10葉期 (草丈30cm以 下)		250～ 300mL <水量100 ～150L>			東北以南
	そば	実	一年生イネ 科雑草	茎葉処 理(全面)	そば生育期, イネ科雑草3～ 5葉期	150～ 200mL <水量 100L>	全土壌	東北以南	・スズメノカタビラ には効果劣る ・少水量散布(25 ～50L)の場合は 専用ノズルを使用 する		
						そば生育期, イネ科雑草6～ 8葉期(草丈 30cm以下)		200mL <水量100 ～150L>			
						そば生育期, イネ科雑草3～ 5葉期		150～ 200mL<水 量100L>, 200mL<水 量25～ 100L>			北海道
						そば生育期, イネ科雑草6～ 8葉期(草丈 30cm以下)		200mL<水 量25L～ 150L>			
18. NP-65 液 トブラメゾン:3.6% [日本曹達]	とうもろこし (飼料用)	実・継	一年生雑草	茎葉処 理(全面)	とうもろこし3～ 5葉期, 雑草3 ～5葉期	100～ 150mL <水量50～ 150L>	全土壌	全域	・散布水量50Lでの年 次変動の確認		
						とうもろこし5～ 7葉期, 雑草5 ～7葉期		150mL <水量100 ～150L>			
						とうもろこし6～ 7葉期, 雑草5 ～7葉期		100mL <水量 100L>			北海道
								100mL <水量100 ～150L>			東北以南
19. NP-66H フロアブル ピロキサスルホ ン:3.4% リニユロン:24% [日本曹達]	大豆	実・継	一年生雑草	土壌処 理(全面)	播種後出芽 前, 雑草発生 前	350mL<水 量100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・播種後出芽前, 雑草 発生前における 250mL, 300mL<水量 100L>での効果・薬害 の確認		
	とうもろ こし	実・継	一年生雑草	土壌処 理(全面)	播種後出芽 前, 雑草発生 前	250～ 350mL<水 量100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・播種後出芽前, 雑草 発生前における250mL <水量100L>での効果・薬 害の年次変動の確認(飼 料用とうもろこし)		

A. 除草剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
20. S-482 顆粒水和 フルミオキサジン :50% [住友化学]	さとうき び (春植え)	継								・効果・薬害の確認
	さとうき び (株出し)	継								・効果・薬害の確認
21. SCC-010液 グルホシネート :18.5% [日本アグロサービス]	かんしょ	実 従 来 通 り	一年生雑草	茎葉処 理(全面)	耕起または挿 苗前, 雑草生 育期(草丈 30cm以下)	200~ 500mL <水量100 ~150L>	全土壌	東北以南		・作物に飛散しな いように散布する ・雑草の草丈30cm 以下で散布する
				茎葉処 理(畦間)	かんしょ生育 期, 雑草生育 期					
	ばれい しょ	実 従 来 通 り	一年生雑草	茎葉処 理(全面)	耕起または植 付前, 雑草生 育期(草丈 10cm以下)	100~ 200mL <水量100 ~150L>	全土壌	東北以南		・作物に飛散しな いように散布する ・雑草の草丈30cm 以下で散布する
					ばれいしょ植 付後萌芽前, 雑草生育期 (草丈10cm以 下)					
				茎葉処 理(畦間)	ばれいしょ生 育期, 雑草生育期	300~ 500mL <水量100 ~150L>				
22. UPH-002 フロアブ ル フェンメディファ ム:16% [保土谷UPL]	てんさい (直播)	継								・効果・薬害の確認
23. UPH-004 液(旧NH- 009液) グルホシネート :18.5% [ユーピーエルジャパ ン]	かんしょ	継								・効果・薬害の確認
	ばれい しょ	継								・効果・薬害の確認
24. ZK-122液 グリホサートカリウ ム塩 44.7% [シンジェンタ ジャ パン]	てんさい	実・継 従 来 通 り	一年生広葉 雑草	雑草茎 葉塗布	てんさい生育 期, 雑草生育 期	2倍希釈液 (0.1mLを1 ~3カ所/ 株)	全土壌	全域	・専用塗布処理機 を使用する ・作物に付着しな いように塗布す る ・分枝の多い雑草 には2カ所以上塗 布する	・てんさい生育期, 野 良生えバレイショ生 育期における効果・ 薬害の確認

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用基準							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	

B. 2019年度 除草剤

2. AKH-0010 EC 新規:35.4% [アグロカネショウ]	大豆	継								・効果・薬害の確認(大豆播種後出芽前)
	ばれいしよ	継								・効果・薬害の確認(ばれいしよ植付後萌芽前)
3. BAH-0805 乳 ジメテナミドP:19.7% ペンディメタリン :23.1% [BASFジャパン]	大豆	実・継	一年生雑草	土壌処理(全面)	大豆播種後出芽前, 雑草発生前	150~170mL <水量100L>	全土壌(砂土を除く)	東北以南		・効果・薬害の確認(播種後出芽前, 雑草発生前(北海道))
6. NP-55乳 セトキシジム:20% [日本曹達]	ばれいしよ	実	一年生イネ科雑草	茎葉処理(全面)	ばれいしよ生育期, イネ科雑草3~5葉期	150~200mL <水量100~150L>	全土壌	全域	・スズメノカタビラには効果が劣る	

C. 生育調節材

1.ジベレリン 水溶 ジベレリン:3.1% [住友化学]	とうもろこし(食用)	—								(作用性)
	小麦(春播)	—								(作用性)